

## 医療法人社団優恵会特定認定再生医療等委員会 議事録

### 1. 開催日時・場所

日時：2024年7月19日（金） 18：45～19：00

場所：東京都品川区西五反田 4-31-17 MYビル 4F 医療法人社団優恵会及びWeb

### 2. 出席者

氏名	特定再生医療認定委員会の場合	第三種再生医療等提供計画のみに係る審査等業務を行う場合	男女	出欠席
井上 肇	②再生医療等	a-1. 医学・医療1	男	○
寺村 岳士	②再生医療等	a-1. 医学・医療1	男	○
村上 富美子	③臨床医	a-2. 医学・医療2	女	○
廣瀬 嘉恵	③臨床医	a-2. 医学・医療2	女	○
市橋 正光	③臨床医	a-2. 医学・医療2	男	×
矢澤 華子	①分子生物学等	a-2. 医学・医療2	女	○
藤田 千春	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
土橋 泉	④細胞培養加工	c. 一般	女	○
井花 久守	⑤法律	b. 法律・生命倫理	男	○
相羽 利昭	⑥生命倫理	b. 法律・生命倫理	男	○
井上 永介	⑦生物統計等	c. 一般	男	○
山崎 美千子	⑧一般	c. 一般	女	○

※ 再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則(平成二十六年九月二十六日厚生労働省令第百十号)改正後第六十三条の規定する開催要件を充足している

整形外科 押領司病院 宇藤 一光氏（医師）

### 3. 技術専門員

### 4. 再生医療等提供計画を提出した医療機関の名称・管理者

整形外科 押領司病院

寺谷 威

5. 再生医療等の名称

多血小板血漿抽出液による関節内治療

6. 定期報告書類の受領日

2024年5月16日

7. 審議内容

井上肇：整形外科押領司病院より、多血小板血漿抽出液による関節内治療の定期報告です。報告期間内に4例5件の治療をされておりまして、治療前のVASスコアの平均が6.4から治療後3.2となったということです。有害事象その他は発生しなかったということですのでよろしいでしょうか。

宇藤：はい。ございません。

井上肇：症例報告についてですが、施行後のVASの数値がいつの経過観察日にあたるのかが不明です。施行後1ヶ月なのか3ヶ月なのか、という部分をご記載下さい。

宇藤：最新の受診時のものにはなります。追記いたします。

井上肇：5例ですので、結果の報告のみでよいかと思います。寺村先生お願いします。

寺村：今回VASが3の患者さんが2名実施されておりまして、施術後にVASが2に改善と記載されていますが、VASが3から2というのは、なかなか明瞭な効果と言にくいのではということもございまして。VASが3の患者さんは、比較的軽度な痛みかと思われそうですが、実施された経緯等もご説明いただけないでしょうか。

宇藤：2例目の方は、今回の施行の3年前にAPS治療を一度行っています。一旦症状が改善し、落ち着いていましたが、今回の施行の1か月前くらい前から膝の痛みが再発してきたということで、ご本人が治療を希望されたという経緯になります。

寺村：3ではあります、荷重時や運動時・負荷時は結構痛むということでしょうか。

宇藤：はい。膝の伸展にも疼痛があり、歩行にも少し影響があるということでした。

寺村：実際には3から2にスコアが1動いただけですが、例えばKOOS等で評価をした場合、もう少し生活の質は改善されたといったようなことはございますか。

宇藤：症状としては歩行時、立ち上がりの時の痛みは施行後で改善したとご本人は仰っています。効果としてはご本人も実感されているのではということですので。

井上肇：今後も先生このような流れで治療を続けていかれるということで、大体年間4~5例という形でしょうか。

宇藤：今回は少なかったですけれども、その前は10例程ありました。

井上肇：その10例というの、いわゆるリハビリテーションなど従前通りの標準的な治療をやった上で改善しなかった患者さんということでしょうか。

宇藤：はい。

井上肇：有害事象も認められていないということと、患者さん全例において、程度の差こそあれ、ご本人の自覚症状が改善され日常生活が改善する方向に向かっているということで、本治療がそれなりの役割を果たしていると判断できるかと思えます。本定期報告に対して適正の判断をさせていただければと思います。

8. 結論

承認 11名

否認 0名

当委員会は、再生医療等提供計画が、再生医療等の安全性の確保等に関する法律及び施行規則に準拠した再生医療を提供するものと判断する。以上に鑑み、今回審査した定期報告について「適正」と判定する。